

協議会からの意見に対する措置、対応状況集約表

日下部警察署

協議会	協議会からの意見、要望等	警察署の回答、措置、対応等の状況
令和4年度第4回 2月24日 【警務】	1 管内小学生への警察署の施設見学において、具体的な見学内容についてどのようなことをしているのか(質問)。	○ 会議での回答 日下部警察署管内で発生する事件や事故などを小学生でもわかりやすく説明するとともに、警察官が実際に身につけている制服や装備品の説明、パトカーや白バイなどへの乗車、パトロールや事件・事故の対応などについてもわかりやすい説明に心がけ実施していきたい。
【会計】	2 これから警察業務も多種多様となるなかで、命を守るという大切な業務が他の業務に圧迫されるようなことがあってはならないと考える。とりわけ、取扱件数の多い遺失届・拾得届の取扱いについて真に警察が行わなければならない業務であるのか(質問)。	○ 会議で回答 遺失届や拾得届があった場合、対応する職員が紛失した物なのか、盗難被害に遭った物なのかをしっかり見定め判断し対応している。遺失届や拾得届については、警察官であれば当然対応することができるが、この取扱いは、警察職員の一般職である事務職員も取り扱うことが可能となっており、警察官でなければ取り扱うことができないものではない。しかし、昨今の取扱件数が増加し業務過多となっていることから、システム構築によるデータベース化を図り、業務の合理化・効率化を図っている。
【生安】	3 日本の治安は良くなったと新聞記事で見かけたが、最近では、強盗殺人事件などが発生するなど治安が悪くなってしまうのではないかと感じている。被害者を出さないことも大切であるが、加害者を出さないことも必要と考える。 地域や学校との連携の必要性が今求められていると感じている(意見)。	○ 会議での回答 最近では、インターネットの闇バイトとして簡単に犯罪行為に加担してしまうという社会問題にもなっている。その前段として、電話詐欺の出し子や受け子などもバイト感覚で気軽に犯罪に手を染めてしまう若者も少なくはない。そういった加害者を生まないための教育については、地域や学校と一層の連携を強化する中で教育していく必要性が高まっており、引き続きしっかり対応していきたい。

<p>【刑事】</p>	<p>4 「宮内雄大」の事件から10年が経過し、大変ではあるが1日でも早い逮捕を望んでいる(要望)。</p>	
<p>【警備】</p>	<p>5 東山梨地区広域防災総合訓練について実際に視察したが、強風降雨の中、生々しい訓練となったが、救助は消防だけではなく警察でも行うことに感銘を受けたことと、多くの関係機関が連携した訓練に頼もしさを覚えた。(感謝)</p>	
<p>【警務】</p>	<p>6 留置管理業務関係について、延べ人員や護送件数が減少しているが、その背景は何か(質問)。</p>	<p>○ 会議での回答 留置場への収容状況について、収容人員は前年の令和3年より昨年のほうが増加している。 しかし、収容延べ人員や護送件数が減少している要因に、新型コロナ感染対策として起訴され被告人となった被留置者を、早期に拘置施設へ移送していることが減少している背景にあると考えている。 今後も、留置管理業務に関しては適切に対応していきたい。</p>
<p>【生安】</p>	<p>7 高校生ボランティアと連携した安全対策の推進とあるが、どのような生徒が活動しているのか(質問)。</p>	<p>○ 会議での回答 管内で連携している高校は山梨高校の1校のみであり、同校の生徒会役員や家庭クラブの生徒を中心とした社会福祉活動や防犯活動などボランティア活動を積極的に行っている。 数年前に、高校側からの要望を受け、ここ数年毎年連携を密に図り、警察署員とともに防犯普及活動に取り組んでいる。高校生という年代から防犯普及活動をはじめとする社会活動やボランティア活動に参加することで、犯罪を犯さない大人へ導くなど人間形成へも一層取り組んでいきたい。</p>

<p>【地域】</p>	<p>8 山岳遭難防止対策として、登山計画書の必要性が認められるが、登山者の皆さんの登山計画書の作成・提出状況はどうなっているのか(質問)。</p>	<p>○ 会議での回答</p> <p>昨今の登山ブームで、登山計画書の作成から提出といった基本的なルールも勉強せずに登山をしてしまう方も少なくはない。</p> <p>そういった方々への教育や指導ということで、登山者が多く利用する駅や登山口などにおいて、登山計画書の作成や提出の必要性を指導しているところあり、今後も、継続した指導を行うことで、山岳遭難の発生を1件でも減らせるよう取り組んでいきたい。</p>
-------------	--	---